

松沢地区意見交換概要

日時 平成 30 年5月 15 日(火)

場所 松沢公民館

出席 57 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	南砺市では、公民館単体の機能ではなく、地域の機能を公民館に集約化する方向性を出したと聞いている。今後、小矢部市でも、公民館の機能を見直していく方向性はあるか。	現時点では、そういう方向性は決めていないが、いずれそういう議論も必要だと思っている。学校の統廃合の話もあり、空いた学校施設に地域の機能を持たせることも議論しなければいけないと思っている。
2	ビジネス客が泊まるホテルや食事をするところがない。市の政策で、増やしてほしい。	ご指摘を重く受け止める。泊まるところもない、食べるところもない、飲むところもないという厳しい指摘はたくさんいただいている。ホテルについては、誘致活動に取り組んでいる。飲食店については、開業を支援する制度もある。
3	小学校の統廃合について、今からいろいろなパターンを考えておくとよいと思う。	参考にさせていただく。
4	小矢部市で想定されている災害は何か？洪水や火災だと思うが、避難所や備蓄品について、安心できる対策・施策があるか教えてほしい。原発が稼動した場合、小矢部市も放射性降下物の範囲に入ると思う。災害対策について説明をお願いしたい。	小矢部市で考えられる自然災害は、地震、浸水、中山間地の土砂災害がある。地震については、邑知潟断層が非常に危険な断層であると発表されたので、現在見直しをしている。邑知潟断層の場合、被害想定が拡大するので、今年度の事業で備蓄を増やしている。避難所についても、策定中である。志賀原発についても議論している。浸水のハザードマップについても、平成 20 年の大雨の際に氾濫寸前だったので見直しをしている。また、県の指導により、県内全ての一級河川の浸水のハザードマップを作り直すこととなり、小矢部もそれに準じて作っているところである。
5	少子高齢化は大変深刻な問題で、いろいろな仕事で人手不足になってくる。小矢部市はベトナムと交流されているが、もっと国際交流をして、人手を確保していくことが地域企業の育成につながると思う。	市としては、日本の人口が減少していく中でも、一定程度の人口確保をしていきたいと思っている。首都圏に人口が集中しすぎているということもあるので、首都圏から小矢部市に戻ってほしいという思いがある。外国人の雇用について、出雲市では、実習生を大きな枠で受け入れることもされている。移民政策は厳しいと思うが、実習生や研修生の制度を少し拡充して、小矢部市に住んでもらうこともぜひ検討していきたい。
6	市として除雪対策の良かった点、悪かった点を教えてほしい。除雪対策について、消防や病院、教育機関等と打ち合わせをしていたのか。	現在、除雪状況の把握、確認をしているところある。市の除雪対策の良かった点、悪かった点についても、庁内で協議しているところ。消防などとは協議しているが、病院とは打ち合わせはしていない。一晩で降った大雪で、みなさんにご迷惑をかけたと思っている。除雪体制を整備するために協議している。

No.	発言要旨	市長回答要旨
7	能越自動車道の福岡本線料金所で料金を徴収しているが、6月から料金所が廃止になるということである。しかし、小矢部東から北陸道へ行く場合、現行の210円が350円くらいになる。負担が増えるが、何とかならないのか？	6月20日から高岡氷見方面は無料化になるが、小矢部東から北陸道へ行く場合は、料金が上乗せになる。今、強く要望をしているところであるが、今後もしっかりと要望を続けていきたい。
8	小矢部市のシンボルとなっているクロスランドタワーを、壊すという話を聞いた。どうなるのか？	全ての公共施設について議論している。クロスランドおやべ、クロスランドタワーも例外ではなく議論を進めている。タワーは、小矢部のシンボルであるので、残していくことも含めて議論したい。民間移管も含めて検討していきたい。壊す費用も結構かかるので、しっかりと考えて進めていきたい。
9	アウトレットモールに行くと、大人は楽しいが、子どもが遊べる場所が少ない。子どもが遊べる場所がほしい。	2か月に1回、事業者(三井不動産)と協議しているため、子どもが遊べる場所を作りたいと伝えたい。
10	市内に産婦人科があるとよいと思う。	産婦人科については、要望を続けている。小矢部で開業すれば、1億円の助成制度もあるが、なかなか厳しい。子どもが300人いないと、採算面で厳しいようだ。現在、北陸中央病院に、産婦人科医が2人いるが、分娩に対応するには3~4人の医師が必要とのことである。北陸中央病院に4人体制にして分娩に対応できるようにお願いしている。市からのどのような支援が必要かということも北陸中央病院連絡協議会で協議している。
11	寿永荘の風呂券をもらうが、寿永荘の風呂がよくないので利用していない。老人に憩いの場を提供してほしい。	寿永荘については、寿永荘の機能を持った民間施設に移管するというので、今、公募している。市で新しい施設を建てるのは厳しいので、民間施設に老人福祉センターの機能を移管していくかたちになる。
12	小矢部では「メルヘン建築」、「メルヘン」という名称を使っているいろいろなことをしてきた。公共施設の再編計画があるが、そのほとんどがメルヘン建築物であると思う。そのあたりをどう考えているか。	公共施設の再編計画の中では、メルヘン建築であっても、同じ施設として、議論を進めている。素晴らしい資源であり、残せるものは残したいが、老朽化による大規模改修にも非常に費用がかかる。利用が少ない施設については、廃止することになる。 「メルヘン」については、これまでは「メルヘン建築」を市内外に発信していた。今後は、メルヘンは「大人も子どももわくわくできるような街」という新しい定義でまちづくりをしていく。